

令和7年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書
(令和6年度対象)

令和7年11月
人吉市教育委員会

目 次

<はじめに>	1
人吉市教育委員会の構成（令和7年10月1日現在）	
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	
1 教育委員会の活動及び運営状況	
（1）教育委員会の概要	2
○教育委員会の目的	2
○人吉市教育委員会委員（令和6年度）	2
（2）教育委員会の主な活動内容	2
○教育委員会の活動状況	2
○教育委員会会議	3
① 会議の開催状況（令和6年度実績）	
② 審議状況	
（ア）付議案件数	
（イ）会議に付された主な案件	
○総合教育会議	3
① 会議の開催状況（令和6年度実績）	
② 協議状況	
③ 会議に付された主な案件	
○教育長及び教育委員の活動	3
① 所管施設訪問状況	
（ア）学校訪問	
（イ）他の主な会議・行事等	
2 点検及び評価の目的	10
3 学識経験者の知見の活用	10
○学識経験者	
4 点検及び評価の対象	10
○人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業	
5 点検及び評価の結果	11
（1）総合評価基準	11
（2）点検評価シート（8事業）	
学校施設整備事業（遊具設置）	12
就学援助費・就学奨励費	14
学校給食事業	16
人吉市地域学校協働本部事業	18
スポーツ施設整備事業	20
犬童球溪頭彰音楽祭事業	22
人吉城歴史館復旧事業	24
人吉市童話発表大会	26
《基本理念》 《教育目標》	28

<はじめに>

人吉市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすため、令和6年度事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表します。

人吉市教育委員会

人吉市教育委員会の構成

(令和7年10月1日現在)

教育長	志波 典明
委員 (教育長職務代理者)	大園 恭幸
委員	永田 ミキ
委員	松岡 誠也
委員	岡本 麻美

地方教育行政の組織及び運営に関する法律《抜粋》

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 教育委員会の活動及び運営状況

(1) 教育委員会の概要

〔教育委員会の目的〕

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会の基本理念として、地方公共団体における教育行政は、教育基本法の主旨にのっとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならないと なっています。

本市においては、人吉市総合計画を上位計画として、人吉市教育振興基本計画に基づいた教育目標の達成に向けて、教育委員会委員及び事務局を中心に高い使命感を持ちながら市民の意向を反映した責任ある教育行政が実現できるように努めています。

〔人吉市教育委員会委員〕

(令和6年度)

役職名	氏名	就任	任期満了
教育長 (新制度教育長)	志波 典明	令和3年7月1日 令和6年7月1日再任	令和9年6月30日
委員 (職務代理者)	大園 恭幸	令和4年4月10日	令和8年4月9日
委員	永田 ミキ	平成28年10月1日 令和7年1月1日再任	令和10年12月31日
委員	加賀 邦保	令和元年10月1日 令和3年7月1日再任	令和7年6月30日
委員	岡本 麻美	令和3年10月1日	令和7年9月30日

(2) 教育委員会の主な活動内容

〔教育委員会の活動状況〕

教育委員会の活動としては、教育長、教育委員4名で、小学校6校、中学校3校、計9校の学校参観を行いました。引き続き教育現場の声を活かした教育行政を推進していきます。

教育委員会の運営としては、教育委員会会議を15回開催し、審議事項41件、承認・協議事項等21件について審議等を行い、今後取り組むべき事業の方向性を決定しました。

今後も「広報ひとよし」や市ホームページを利用し、定例の教育委員会議等への傍聴の呼びかけを行い、開かれた教育委員会を目指していきます。

〔教育委員会会議〕

① 会議の開催状況（令和6年度実績）

会 議	開催数	傍聴者数
定例会	12 回	2 名
臨時会	3 回	0 名

② 審議状況

（ア）付議案件数

審議事項	41 件
承認・協議事項等	21 件

（イ）会議に付された主な案件

- ・ 人事案件について
- ・ 規則・要項の制定及び改正について
- ・ 一般会計予算について
- ・ 人吉市学校運営協議会委員等の任命について
- ・ 教育委員会の点検及び評価について

〔総合教育会議〕

① 会議の開催状況（令和6年度実績）

会 議	開催数	開催月
総合教育会議	1 回	5 月

② 協議状況

協議事項	教育長及び教育委員出席状況
1 件	5 名

③ 会議に付された案件

- ・ 第4次人吉市教育振興基本計画について

〔教育長及び教育委員の活動〕

① 所管施設訪問状況

（ア）学校訪問

区 分	対 象	期 日	教育長及び教育委員出席状況
小学校訪問	6校	令和6年7月～11月	延べ 28人
中学校訪問	3校		延べ 15人

(イ) 他の主な会議・行事等

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員出席状況
1	臨時的任用教職員辞令伝達式	令和6年4月1日 (月)	1名
2	球磨管内教職員辞令交付式	令和6年4月1日 (月)	1名
3	教職員人事異動に伴う辞令伝達式	令和6年4月1日 (月)	4名
4	新規採用教職員スタートアップミーティング	令和6年4月2日 (火)	1名
5	学校保健推進合同会議	令和6年4月4日 (木)	1名
6	入学式 (小・中学校)	令和6年4月9日 (火)	5名
7	人吉市スポーツ推進委員協議会総会	令和6年4月12日 (金)	1名
8	市内校長会議	令和6年4月15日 (月)	1名
9	人吉市食育推進委員会	令和6年4月15日 (月)	1名
10	人吉球磨人権教育研究協議会 第1回代表者会議	令和6年4月16日 (火)	1名
11	教育長・校長合同会議	令和6年4月19日 (金)	1名
12	第1回市内教頭・主幹教諭会議	令和6年4月22日 (月)	1名
13	第65回人吉市民早起きソフトボール大会開会式	令和6年4月26日 (金)	1名
14	「第15回おどんな日本一」全国少年剣道大会	令和6年5月3日 (金)	1名
15	人吉市立教育研究所総会	令和6年5月7日 (火)	1名
16	全国都市教育長協議会定期総会	令和6年5月9日 (木)	1名
17	九州都市教育長協議会定期総会	令和6年5月9日 (木)	1名
18	中原校区公民館総会	令和6年5月11日 (土)	1名
19	小・中学校体育祭 (第一中・第二中・第三中・大畑小)	令和6年5月13日 (月)	1名
20	人吉市奨学金選考委員会 (第1回)	令和6年5月16日 (木)	1名
21	人吉文化協会定例理事会	令和6年5月17日 (金)	1名
22	小学校運動会 (西瀬小)	令和6年5月19日 (日)	1名
23	第1回 人吉市校区公民館長連絡協議会	令和6年5月20日 (月)	1名
24	人吉球磨人権教育研究協議会 第2回代表者会議	令和6年5月21日 (火)	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員出席状況
25	市内校長会議	令和6年5月22日 (水)	1名
26	人吉市人権教育推進連絡協議会 第1回運営委員会	令和6年5月22日 (水)	1名
27	教育長会議・教育推進会議	令和6年5月23日 (木)	1名
28	球磨教育事務所長講話	令和6年5月24日 (金)	1名
29	カルヴァーリョ・ラッソ人吉 総会	令和6年5月24日 (金)	1名
30	室伏広治氏講演会	令和6年5月25日 (土)	1名
31	小学校運動会 (東間小)	令和6年5月26日 (日)	1名
32	令和6年度ひとよし温泉マラソン第2回役員会	令和6年5月27日 (月)	1名
33	令和6年度NPO法人人吉市体育協会通常総会	令和6年5月28日 (火)	1名
34	犬童球溪顕彰音楽祭協議会 (第1回)	令和6年5月28日 (火)	1名
35	熊本県市町村教育委員会連絡協議会定例会	令和6年5月29日 (水)	2名
36	幼・保等、小、中連携会議	令和6年5月29日 (水)	1名
37	人吉市人権教育推進連絡協議会 総会・研修会	令和6年5月31日 (金)	1名
38	西瀬校区公民館成人講座開講式	令和6年5月31日 (金)	1名
39	青少年育成市民会議 総会	令和6年6月1日 (土)	1名
40	人吉球磨地域租税教育推進協議会総会	令和6年6月3日 (月)	1名
41	西瀬校区公民館子ども講座開講式	令和6年6月3日 (月)	1名
42	第1回人吉市教育支援委員会	令和6年6月4日 (火)	1名
43	臨時市内校長会議	令和6年6月4日 (火)	1名
44	中原校区公民館成人講座開講式	令和6年6月7日 (金)	1名
45	人吉市スポーツ少年団総会	令和6年6月7日 (金)	1名
46	学校運営協議会 (第一中)	令和6年6月18日 (火)	1名
47	人吉球磨地区特別支援連携協議会	令和6年6月20日 (木)	1名
48	市内教務主任会議	令和6年6月21日 (金)	1名
49	令和6年度ひとよし温泉マラソン第1回実行委員会	令和6年6月24日 (月)	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員出席状況
50	学校運営協議会（人吉西小）	令和6年6月28日（金）	1名
51	第1回人吉市学校給食センター運営委員会総会	令和6年6月28日（金）	1名
52	学校運営協議会（第二中）	令和6年7月1日（月）	1名
53	総合訪問（第三中）	令和6年7月2日（火）	5名
54	寄附金贈呈式	令和6年7月3日（水）	1名
55	第1回人吉市社会教育委員会（公民館運営審議会）	令和6年7月4日（木）	1名
56	第1回人吉市地域学校協働本部会議	令和6年7月4日（木）	1名
57	学校運営協議会（東間小）	令和6年7月5日（金）	1名
58	教育長・校長合同会議	令和6年7月9日（火）	1名
59	市内校長会議	令和6年7月10日（水）	1名
60	第1回人吉市学校給食食物アレルギー対応委員会	令和6年7月10日（水）	1名
61	経営訪問（人吉西小）	令和6年7月12日（金）	5名
62	人吉市学校安全衛生委員会	令和6年7月16日（火）	1名
63	第1回人吉市中学校部活動地域移行検討会	令和6年7月16日（火）	1名
64	第1回人吉市いじめ問題対策連絡協議会	令和6年7月17日（水）	1名
65	経営訪問（中原小）	令和6年7月18日（木）	5名
66	令和6年度熊本県中学校総合体育大会総合開会式	令和6年7月20日（土）	1名
67	犬童球溪頭彰音楽祭協議会（第2回）	令和6年7月24日（水）	2名
68	人吉球磨人権教育研究協議会 全体会	令和6年7月25日（木）	1名
69	人吉市中学生みらい議会事前学習会	令和6年7月26日（金）	1名
70	第17回ペタンク大会	令和6年7月28日（日）	1名
71	人吉市教育委員会が行う初任者研修	令和6年8月5日（月）	1名
72	就学時の健康診断等に関する事務協議会	令和6年8月7日（水）	1名
73	犬童球溪頭彰音楽祭「個人コンクール（予選）」独奏部門	令和6年8月25日（日）	1名
74	市内校長会議	令和6年9月3日（火）	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員出席状況
75	第79回熊本県民体育祭人吉市選手団結団式	令和6年9月6日 (金)	1名
76	第2回人吉市教育支援委員会	令和6年9月13日 (金)	1名
77	第79回熊本県民体育祭激励巡回	令和6年9月14日 (土)	1名
78	人吉球磨人権教育研究協議会 第3回代表者会議	令和6年9月17日 (火)	1名
79	第4回人吉市童話発表大会	令和6年9月22日 (日)	3名
80	小学校運動会 (人吉西小)	令和6年9月29日 (日)	1名
81	経営訪問 (大畑小)	令和6年10月1日 (火)	4名
82	市内校長会議	令和6年10月2日 (水)	1名
83	小学校運動会 (人吉東小・中原小)	令和6年10月6日 (日)	1名
84	教育長会議・教育推進会議	令和6年10月15日 (火)	1名
85	人吉市中学生みらい議会リハーサル	令和6年10月15日 (火)	1名
86	総合訪問 (人吉東小)	令和6年10月16日 (水)	4名
87	人吉市・人吉市歯科医師会連絡協議会	令和6年10月16日 (水)	1名
88	人吉市人権教育推進連絡協議会 第2回運営委員会	令和6年10月17日 (木)	1名
89	人吉市中学生みらい議会	令和6年10月18日 (金)	1名
90	人吉球磨総合美展テープカット	令和6年10月19日 (土)	1名
91	大畑校区民体育祭	令和6年10月20日 (日)	1名
92	総合訪問 (第一中)	令和6年10月23日 (水)	5名
93	犬童球溪頭彰音楽祭「個人コンクール (本選)」	令和6年10月27日 (日)	1名
94	就学時健康診断 (人吉東小)	令和6年10月28日 (月)	1名
95	人吉文化祭前夜祭	令和6年10月30日 (水)	1名
96	経営訪問 (第二中)	令和6年10月31日 (木)	5名
97	就学前交流事業	令和6年10月31日 (木)	1名
98	経営訪問 (東間小)	令和6年11月1日 (金)	5名
99	市内校長会議	令和6年11月6日 (水)	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員出席状況
100	総合訪問（西瀬小）	令和6年11月7日（木）	5名
101	教育長・校長合同会議	令和6年11月11日（月）	1名
102	第2回市内教頭・主幹教諭会議	令和6年11月12日（火）	1名
103	犬童球溪頭彰音楽祭「碑前祭」「学校発表会」	令和6年11月14日（木）	5名
104	東間校区公民館講座閉校式	令和6年11月17日（日）	1名
105	小学校社会体育運営委員会	令和6年11月18日（月）	1名
106	就学時健診（東間小）	令和6年11月19日（火）	1名
107	第2回人吉市地域学校協働本部会議	令和6年11月20日（水）	1名
108	就学時健康診断（西瀬小）	令和6年11月22日（金）	1名
109	人吉市奨学金選考委員会（第2回）	令和6年11月27日（水）	1名
110	第2回人吉市校区公民館長連絡協議会	令和6年11月29日（金）	1名
111	人吉学童マラソン	令和6年12月1日（日）	1名
112	中原コミセン 公民館成人講座閉講式	令和6年12月6日（金）	1名
113	第71回人吉駅伝大会	令和6年12月8日（日）	1名
114	人吉市特別支援連携協議会研修会	令和6年12月9日（月）	1名
115	第72回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会	令和6年12月15日（日）	1名
116	第3回人吉市教育支援委員会	令和6年12月17日（火）	1名
117	第2回人吉市社会教育委員会（公民館運営審議会）	令和6年12月18日（水）	1名
118	市内校長会議	令和6年12月19日（木）	1名
119	人吉市奨学金選考委員会（第3回）	令和6年12月21日（土）	1名
120	人吉市学校安全衛生委員会	令和6年12月23日（月）	1名
121	第2回人吉市中学校部活動地域移行検討会	令和6年12月23日（月）	1名
122	人吉市成人式	令和7年1月3日（金）	4名
123	第40回人吉球磨読書感想画コンクール表彰式	令和7年1月11日（土）	1名
124	教育長・校長合同会議	令和7年1月14日（火）	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員出席状況
125	市内校長会議	令和7年1月20日 (月)	1名
126	第51回郡市対抗熊日駅伝 人吉市選手団結団式	令和7年1月28日 (火)	1名
127	熊本の学び研究発表会	令和7年1月29日 (水)	1名
128	熊本大学教育学部附属中学校との連携協定締結	令和7年1月31日 (金)	1名
129	市内校長会議	令和7年2月6日 (木)	1名
130	第3回市内教頭・主幹教諭会議	令和7年2月7日 (金)	1名
131	第22回ひとよし温泉マラソン	令和7年2月16日 (日)	1名
132	市内教務主任会議	令和7年2月17日 (月)	1名
133	犬童球溪頭彰音楽祭協議会 (第3回)	令和7年2月20日 (木)	1名
134	第3回人吉市社会教育委員会 (公民館運営審議会)	令和7年2月21日 (金)	1名
135	わくわくサポーターの集い 「われら人よし 生き域 学校応援団」	令和7年2月26日 (水)	1名
136	第3回人吉市校区公民館長連絡協議会	令和7年2月26日 (水)	1名
137	人吉市食育推進委員会総会	令和7年3月3日 (月)	1名
138	市内校長会議	令和7年3月3日 (月)	1名
139	中学校卒業式 (第三中)	令和7年3月7日 (金)	1名
140	中学校卒業式 (第一中・第二中)	令和7年3月9日 (日)	2名
141	第2回人吉市特別支援連携協議会	令和7年3月13日 (木)	1名
142	青少年育成関係「6団体交流会」	令和7年3月15日 (土)	1名
143	人吉市いじめ問題対策連絡協議会	令和7年3月17日 (月)	1名
144	人吉市学校給食運営委員会	令和7年3月17日 (月)	1名
145	第3回人吉市中学校部活動地域移行検討会	令和7年3月18日 (火)	1名
146	小学校卒業式	令和7年3月21日 (金)	5名
147	人吉市体育施設事故防止対策審議会	令和7年3月25日 (火)	1名
148	人吉市小学校社会体育運営委員会 総会	令和7年3月26日 (水)	1名

2 点検及び評価の目的

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年4月から施行されました。法改正の目的「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして「教育委員会の点検及び評価」が位置付けられています。

教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

3 学識経験者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するために「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとなっています。

広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検評価の結果について3名の学識経験者から様々な御意見、御助言をいただきました。

[学識経験者]

あだち きみこ 安達 貴美子 氏	元小学校校長
さこだ ようこ 迫田 洋子 氏	元市役所職員
みやざき まさゆき 宮崎 正幸 氏	市PTA連絡協議会推薦

4 点検及び評価の対象

令和6年度中に人吉市教育振興基本計画に基づき実施した8事業について、点検及び評価を行いました。

[人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業]

課名	点検及び評価を行う事業
学校教育課	学校施設整備事業（遊具設置）
	就学援助費・就学奨励費
	学校給食事業
社会教育課	人吉市地域学校協働本部事業
	スポーツ施設整備事業
文化課	犬童球溪顕彰音楽祭事業
	人吉城歴史館復旧事業
	人吉市童話発表大会

5 点検及び評価の結果

教育委員会においては、学識経験者の知見の活用を図りながら事業評価を行い、今後の方向性を示す総合評価をA～Dで表し、最終的な点検評価として意見をまとめました。

(1) 総合評価基準

区分	評価結果に基づく改善等の内容	内容の詳細
A	継続して管理・運営を進めることが適当	特に問題もなく進捗状況も順調で、計画的に事業を進めるもの。
B	事業の進め方を改善検討し、事業は継続	進捗状況は順調であり、事業内容にも意義があるため継続が望ましいと判断できるが、事業の進め方等に改善の余地があるもの。
C	事業規模・内容、または実施主体の見直しを検討	進捗状況も芳しくなく、結果もあまり期待できないが、事業規模・内容・実施主体に改善の余地があるもの。
D	事業の抜本の見直し、休・廃止の検討	進捗状況が大幅に遅れており、事業そのものに行政が関与する必要がなく休・廃止が望ましいもの。

(2) 点検評価シート（8事業）

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和6年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	学校施設整備事業（遊具設置）					
2	担当課名	学校教育課		担当者	宮永めぐみ		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		9	学校教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	・市内各小学校の児童・生徒、及び学校施設を利用する市民				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	・学校は、教育の場であると同時に、児童生徒等が1日の大半を過ごす生活の場でもある。また、地域の方々のコミュニティの拠点であるとともに、災害時の避難場所としての機能も大きな役割となっており、学校が果たす役割は年々重要なものとなっている。そのような学校において、安全で安心な環境を確保することは、学校設置者としての責務である。				
6	事業の概要	・学校の遊具は、子供たちの身体能力向上に役立つ重要な教育環境の一部であるため、市内の小学校の全ての遊具について、2年に1度、専門業者に依頼し劣化診断を実施しているが、設置後、相当数の年月が経過しているため「生命・あるいは重度の恒久的な障害をもたらす危険がある状態」との結果を受けた遊具を撤去し、新たに遊具を設置したもの。				
7	コスト内訳	年度	令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(見込)	
		合計	1,964千円	10,908千円	220千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起債		10,900		
		④ その他				
	⑤ 一般財源	1,964	8	220		

事業の成果と課題	
8	<p>成果・実績</p> <p>【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】</p> <p>令和5年度に実施した調査によりC判定（異常があり、修繕又は対策が必要とされた遊具）の遊具が29基（全75基）あったため、直ちに使用停止の措置を行い、16基を修繕。危険性が高く撤去を推奨された遊具8基について、撤去をおこなった。</p> <p>【撤去した遊具の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○複合遊具5基（人吉東小1基・人吉西小2基・東間小学校1基・西瀬小1基） ○ジャングル滑り台1基（大畑小学校） ○高低自由式鉄棒2基（大畑小1基・中原小1基） <p>令和6年度に遊具設置工事をおこなった。</p> <p>【設置した遊具の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人吉東小学校 屋外用滑り台1基・リングラダージム1基 ○人吉西小学校 屋外用滑り台1基・太鼓橋1基・固定式シーソー1基 ○東間小学校 屋外用滑り台1基・リングラダージム1基 ○大畑小学校 ジャングル滑り台1基 ○西瀬小学校 ジャングル滑り台1基・太鼓橋1基・肋木1基
9	<p>今後の課題や改善等</p> <p>・今後も設備の経年劣化状況を勘案し、計画的に点検を実施し設備の更新を行っていく必要がある。</p>

事業の評価と今後の事業計画			
	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		A	<p>令和5年度～6年度にかけて本事業を実施。概ね計画通りに進捗したことからAを選択した。</p> <p>今後も、適切に管理し、状態に応じ修繕・撤去をおこない教育環境整備を進めていく必要がある。</p>
学識経験者の意見			
11			<p>○学校施設の経年劣化は、年数とともに増加していくことは防ぎようがない。児童が安全に学校生活を送れるよう、危険な遊具の撤去や、新しい遊具の設置は必須である。今後も定期的な点検を行い、適切に撤去、配置を行ってほしい。</p> <p>○C判定遊具の修繕・撤去が進んだことで、安全で・安心な環境づくりに寄与した。</p> <p>○今後も経年劣化状況を的確に把握され、計画的な整備・点検の実施により施設の更新に努めていただきたい。</p> <p>○遊具の撤去・新設を評価する。児童も喜んでいる。</p>

教育委員会の評価	
	総合評価
12	<p>A</p> <p>学校遊具は、子供たちの日常的な体育活動により体力や運動機能を増進させるために不可欠のものであると考える。一方、遊具施設による事故やけがは、設置者として絶対に防がなければならないことである（学校設置者の責務）。このことから、設置者としての定期的な遊具の安全点検は大変重要な取組であり、2年に1度の専門業者による劣化診断は、安全安心な学校づくりを推進するためにも高く評価できる取組と評価する。</p> <p>また、その結果、C判定遊具の修繕・撤去及び撤去後の新遊具の設置は、安全安心な学校づくりに寄与する取組であったと評価する。</p> <p>設置（新設）については、専門家の意見や評価を聞くなどして、十分に検討・吟味したうえで導入を決定してほしい。</p> <p>今後も、計画的に点検を行い、設備を更新して行ってほしい。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和6年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	就学援助費・就学奨励費					
2	担当課名	学校教育課	担当者	山本 研央			
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		22	子ども・子育て支援の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	人吉市（以下「市」）に住所又は居所を有する児童生徒又は就学予定者（市に住所又は居所を有していない者のうち、特別の事情のため、市内の学校に就学している者を含む。）の保護者であって、経済的理由により就学困難な者。				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	学用品費や給食費、修学旅行費等の就学に必要な費用を援助することにより義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。				
6	事業の概要	公立の小・中学校では義務教育のため、授業料は発生しないとは言え、授業料以外の教育費がかなりかかる。そのため、経済的に厳しい家庭では、子供を学校に通わせるだけでも家計に大きな負担がかかることもある。このように経済的理由により就学困難な家庭の児童生徒が、安心して学習できるよう、就学に必要な費用の援助を行う。				
7	コスト内訳	年度	令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(見込)	
		合計	33,502千円	36,321千円	39,346千円	
		① 国庫補助金	1,836	1,967	1,484	
		② 県補助金				
		③ 起債				
		④ その他				
	⑤ 一般財源	31,666	34,354	37,862		

事業の成果と課題	
8	<p>成果・実績</p> <p>【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】</p> <p>【就学援助費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 要保護者 <ul style="list-style-type: none"> 支給額：158,020円 (R6) ← 274,720円 (R5) 支給人数：7人 (R6) ← 8人 (R5) ■ 準要保護者 <ul style="list-style-type: none"> 支給額：29,445,356円 (R6) ← 30,682,758円 (R5) 支給人数：398人 (R6) ← 416人 (R5) <p>【就学奨励費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 支給額：3,838,517円 (R6) ← 3,479,369円 (R5) 支給人数：100人 (R6) ← 94人 (R5) <p>※対象児童生徒の学年によって、支給額は異なる。</p>
9	<p>今後の課題や改善等</p> <p>就学援助費は、前年度よりも支給額及び支給人数の減少がみられたが、これは市内小中学校の児童生徒数の減少によるものであり、児童生徒に占める就学援助費の需給割合に差異が見られない。就学奨励費については、年々増加傾向にあることから、経済的理由により就学困難な児童生徒が多くなっていることがわかる。</p> <p>また、学年費等の滞納世帯が多く、回収に苦労しているという学校からの報告も上がってきている。このため、令和7年度から新入学児童生徒の学用品費については見直しを行い、国が示す基準額まで補助額の引き上げを行っている。</p>

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		A	<p>近年、新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨、世界的な物価高騰等、様々な事象の煽りを受け、家計の負担がますます大きくなっていく。特に世界的な物価高騰については今後も続く見込みであり、高止まりの様相を呈している。</p> <p>今後については、市の財政状況を考慮しつつ、国の就学援助補助金の上限の範囲内で保護者への支給額の増額を検討し、家計の負担を減らすことで就学困難な家庭の児童生徒が、安心して学習できるよう環境整備に努める。</p> <p>また、補助制度だけでなく、困り感を持った児童生徒やその保護者に対し。問題の解決に向けた子育ての支援・相談に対しても、引き続きこども未来課などの関係部署と連携を図りながら、事業を実施してまいりたい。</p>

学識経験者の意見

11	<p>○就学援助費、就学奨励費共に今後も同程度の額が見込まれることから、今後も引き続き支援できるようお願いしたい。</p> <p>○経済的理由により就学困難な家庭の児童・生徒が、安心して学習できる環境づくりのために重要な事業であり、今後も可能な範囲で補助額の引き上げ等、検討を進めていただきたい。</p> <p>○支給額の増額に対し評価する。今後も事業を継続していただきたい。</p>
----	--

教育委員会の評価

	総合評価	
12	A	<p>すべての児童生徒が、平等に教育を受けることができるよう保障するという観点で重要な制度である。国の基準に準じて支給されているものと思うが、下回っている部分があれば引き上げを検討してほしい。</p> <p>保護者の負担を軽減するとともに児童生徒が困り感なく安心して学校生活を送ることにつながっており、大変意義のある事業として今後も継続していく必要がある。また、世界的な物価高騰が今後も続く見通しであり、このような状況から、経済的に就学させることが厳しい家庭を確実に援助するための財源の確保や認定基準の見直し、支給額の増額等よりよい改善を図りながら施策を展開してほしい。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和6年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	学校給食事業					
2	担当課名	学校教育課		担当者	鶴口 有紀		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		9	学校教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市内小・中学校の児童生徒及びその保護者				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	これまで、学校給食費の管理と徴収は学校が行っており、学校給食費の納付は保護者が現金で学校へ支払いをしていた。また、学校現場においては、本来の業務に加え、学校給食費の徴収や未納保護者への連絡対応など、教職員の業務負担となっていた。このことから、保護者の利便性向上と教職員の業務負担軽減のため、令和6年度から学校給食費の公会計化を開始した。また、止まらない物価高騰により献立作成が困難な状況となってきた場合は、補正予算で増額要求し、対応することとした。				
6	事業の概要	<p>学校給食費の公会計とは、学校給食費（歳入）や食材費（歳出）を人吉市の予算に計上し、議会の議決を経たうえで、市が学校給食費の管理と徴収をするものである。公会計化にあたり、学校給食費の支払方法を原則口座振替とした。</p> <p>また、令和6年度から学校給食費の値上げを行ったものの、物価高騰の影響により献立作成が困難な状況となったことから12月補正予算で6,128千円を増額要求した。</p>				
7	コスト内訳	年度	令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(見込)	
		合計	189,875千円	322,662千円	293,618千円	
		① 国庫補助金	16,393	9,984		
		② 県補助金				
		③ 起債	24,900	49,400	24,800	
		④ その他	601	109,313	103,775	
	⑤ 一般財源	147,981	153,965	165,043		

事業の成果と課題	
8	<p>成果・実績</p> <p>【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食実施人員（令和6年4月10日現在、教職員含む） 小学校1,659名 中学校870名 合計2,529名 給食費納入の口座振替登録件数 2,232件 年間給食回数 小学校184回 中学校180回 給食費単価 小学校266円/食（R5年度241円） 中学校310円/食（R5年度282円） 年間給食費 小学校48,944円（184回×266円） うち市負担15,456円 中学校55,800円（180回×310円） うち市負担16,020円 保護者負担額 小学校33,488円（184回×182円） 中学校39,780円（180回×221円） <p>○給食費の支払方法を原則口座振替としたことで、保護者の利便性向上が図られた。 ○食材費の不足分を補正予算で対応したことで、保護者に追加の負担を強いることなく、量質ともに安定した給食を提供することができた。</p>
9	<p>今後の課題や改善等</p> <p>口座振替手続き未了の世帯に対して、数回にわたり、文書送付による口座振替依頼書の提出（手続き）依頼を行い、数件は口座登録を行ったが、すべての世帯が手続き完了までに至らなかった。今後は、文書送付と併せ、個別に電話での説明を行い、口座登録への理解を求め、全件登録に向けた取組を進めたい。</p> <p>公会計化により給食費の徴収業務を給食センターが担うこととなり、電話や訪問による徴収を行ったが未納が生じている。公平性を保つためにも完納を目指し、滞納整理を強化していく。</p>

事業の評価と今後の事業計画			
	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		A	<p>学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、食に関する正しい理解と適正な判断力を養う上で重要な役割を果たしている。</p> <p>世界的な物価高騰は今後も続くと思われるが、食材費の高騰による不足分については市が負担することで、保護者に追加負担を強いることなく、安定した給食を提供していきたい。</p> <p>また、公平性の見地からも給食費未納世帯に対する滞納整理を強化し、完納を目指していく。</p>
学識経験者の意見			
11			<p>○学校給食費の公会計化となり、学校にとっても保護者にとってもありがたい。しかし、今まで学校で行ってきた未納者の対応も給食センターが行うこととなったことから、給食センターの負担増が考えられる。そのため、人員増を考えなければならないのではないかと思う。</p> <p>○給食費の未徴収分対応について、限られたマンパワーの中で、より実効性の高い方策を検討されたい。</p> <p>○公会計化により、保護者の利便性向上と、教職員の負担軽減が図られた。</p> <p>○国の補助金が期待できない今、市から補助してもらえよう引き続きお願いしたい。</p> <p>○物価高騰のなか、保護者に追加の負担を強いることなく、安定した給食事業の実施は、児童・生徒の発育と食育の観点からも重要な事業である。</p>

教育委員会の評価		
	総合評価	
12	A	<p>物価上昇が続く中、保護者に食材費の経済的負担を強いることなく補正予算で対応し、児童生徒に量質ともに安定した給食の提供を行ったことを高く評価する。</p> <p>今後も世界的な物価高騰が見込まれる中、保護者に経済的負担をかけず、安定した安全でおいしい給食の提供を図ることをねらいとした本事業は、児童生徒の健全な成長を促すためにも継続して実施していく必要がある。</p> <p>また、「給食費徴収方法の公会計化」により教職員や保護者の負担軽減に寄与できたことも高く評価できる。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和6年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	人吉市地域学校協働本部事業					
2	担当課名	社会教育課		担当者	松島 泰代		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		8	社会教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	人吉市内小中学校の児童・生徒、それに関わる地域の方				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	これまで各中学校区で取り組んできた独自の地域学校協働活動の成果を基盤とし、「社会に開かれた教育課程」を実現させるため、五者連携によるコミュニティスクールと地域学校協働活動を一体的に推進する。特に「学校から地域へ」の協働活動に積極的に取り組み、子供たちが地域に出る「地域貢献型の活動」につなげ、学校の外で多くの世代の方々と触合う機会を創出することで、その学びや成長につなげる。				
6	事業の概要	【組織構成】 市内全ての小中学校で、地域学校協働活動を推進するために、本市における本部の下に、中学校区毎の支部を設置する構成としている。この各支部に地域学校協働活動推進員（コーディネーター）を1人ずつ配置し、各小中学校のコミュニティスクールにおける学校運営協議会委員とすることで、組織の連携と円滑な運営を図る。【学校協働活動】 地域学校協働活動推進員（コーディネーター）が、学校と地域の橋渡し役となり、わくわくサポーターの募集及び人員確保を行いながら、協働活動を推進する。				
7	コスト内訳	年度	令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(見込)	
		合計	6,737千円	8,661千円	9,096千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金	154	198	236	
		③ 起債				
		④ その他				
⑤ 一般財源	6,583	8,463	8,860			

事業の成果と課題						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<令和6年度> わくわくサポーター登録者数：447人 団体登録：12団体 地域学校協働活動実績：539回、 延べ支援者数：2,161人 新型コロナウイルス感染症の5類移行から、活動実績も増え、延べ支援者も伸びている状況である。支部員、本部員も学校と地域とが互いに支えあえる活動が展開できていることを実感しており、わくわくサポーターも「楽しく参加」をモットーに活動をしていただいている。※令和6年10月1日から「学校支援ボランティア」の名称を「わくわくサポーター」に変更				
9	今後の課題や改善等	地域から学校の支援活動は活動実績が増えているが、学校から地域への協働活動を令和6年度から特に力を入れて推進しているが、まだ活動実績が少ない状況である。 地域と学校の双方向の協働活動となるように、学校から地域への活動を広げる必要がある。また、わくわくサポーターの高齢化も問題であり、若い世代の取り込みが必要となっている。				

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		B	<p>平成31年度から地域学校協働本部事業として、市内全小・中学校で取り組んでいる事業である。年々活動件数も増えており、わくわくサポーターの要請も多く、内容も多岐にわたるものになってきたことから、PTAなどに声掛けをして若い世代を取り込む必要がある。また、学校から地域への協働活動を行うために、まずは校区支部を構成している団体等と連携して、できることを考えながら進めていかなくてはならない。これらのことから、評価としてBを選択した。</p>

学識経験者の意見

11	<p>○わくわくサポーターの高齢化が危惧されるところである。各小中学校のPTA関係者に登録を呼びかけ、現地見学のサポートなど、暑さ寒さの中でも校外の活動等に多くのサポーターが対応できるようお願いしたい。そのためにも、小中学校の保護者向けのチラシを作成し、配付してほしい。</p> <p>○「学校から地域への協働活動」の拡充について、「地域貢献型の活動」の促進とともに、学校の外で多くの世代の方々と触合う機会の創出を検討いただきたい。</p> <p>○今後、わくわくサポーターの若年層の加入に努める取り組みや、関係団体との連携に期待する。</p> <p>○若い世代へのわくわくサポーターの加入を促すことができればと思うが、仕事との兼ね合いが課題となり難しいと思われる。わくわくサポーターの活動内容を伝えることができれば、少しは興味を持ってもらえると思う。（授業参観時に保護者に見てもらおう等）</p>
----	---

教育委員会の評価

	総合評価	
12	B	<p>情報化社会の進展や保護者の価値観の多様化等により、学校課題の解決は、学校の対応だけでは困難な状況にある。このことを受けて、「社会に開かれた教育課程」の実現へ向けた学校運営協議会の機能と地域学校協働活動の一体的推進が求められている。コロナ禍により減少していた活動実績も回復し、支援者数も伸びている状況とのことで、いい傾向である。</p> <p>わくわくサポーターの高齢化に加え、若い世代の方々への加入促進、学校と地域の双方向での活動など、課題も多く、なかなか解決策が見つげにくいことで停滞感も感じるが、活動自体がしっかりと根付いてきていること、活動内容や範囲を広げようとする工夫も感じられる。</p> <p>今後は、「地域貢献型の活動」の促進や若年層のわくわくサポーター登録等の課題解決するための取組を検討する必要がある。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和6年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	スポーツ施設整備事業					
2	担当課名	社会教育課		担当者	岩崎 友和		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		12	スポーツの振興

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	施設利用者（市民及び市外住民）				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	<p>本市におけるスポーツ施設は、市民の心身の健康増進と体力向上を図り、生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を提供することを目的としています。</p> <p>児童生徒の運動能力の向上や、大人世代のスポーツ活動の推進、高齢者の介護予防など、全ての市民がそれぞれのライフステージに応じた活動を安全に楽しめる施設環境づくりを目指しています。</p>				
6	事業の概要	スポーツ施設の整備・改修等				
7	コスト内訳	年度	令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(見込)	
		合計	8,487千円	65,129千円	16,335千円	
		① 国庫補助金		17,380		
		② 県補助金				
		③ 起債	3,300	46,100	16,000	
		④ その他				
	⑤ 一般財源	5,187	1,649	335		

事業の成果と課題						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>令和6年度は、修繕2件、改修・修繕工事4件、備品購入2件を実施した。</p> <p>具体的な整備等事業は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツパレスカーポート屋根修繕・スポーツパレス屋根修繕 ・スポーツパレス小アリーナ特定天井落下防止改修工事 ・スポーツパレス真空遮断器改修工事 ・スポーツパレス大アリーナ屋根箱樋修繕外工事 ・スポーツパレストレーニング室空調設備改修工事 ・スポーツパレスウォータークーラー購入・ハンドボールゴール購入 				
9	今後の課題や改善等	<p>令和5年度に策定した「人吉市体育施設個別施設計画」を基に、各スポーツ施設の状況を把握している指定管理者である人吉市体育協会と協議し、優先順位を付け、改修などに取り組んでいるものの、多くのスポーツ施設で老朽化や経年劣化が進行していることから、突発的に発生した事案に対応することを余儀なくされている。</p> <p>現在、公共施設の総合的な管理を包括的に実施するべく、全庁的な取組が進められていることから、その状況を注視しつつ、今後も計画的な改修・整備を行い、施設の長寿命化に努める必要がある。</p>				

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		B	<p>スポーツパレス小アリーナ特定天井落下防止改修工事については、学校施設環境改善交付金（国庫補助）とともに、過疎地域に指定された自治体が発行可能な財政面で特に有利な地方債である過疎対策事業債を活用し、実施することで、財政負担の軽減に加え、市民の安全・安心なスポーツ環境の整備を実現することができた。</p> <p>また、スポーツパレス大アリーナ空調修繕改良工事については、令和7年度の繰越事業となったが、過疎対策事業債など有利な地方債を活用するとともに、快適なスポーツ環境の早期実現を目指します。</p> <p>今後の事業推進にあたっては、過疎対策事業債の活用のほか、国庫補助金やスポーツ振興くじ助成金の確保を図るとともに、突発的な修繕等に対応しながら、可能な限り、計画的な施設の修繕・整備を実施します。</p>

学識経験者の意見

11	<p>○スポーツ施設や設備の老朽化は、使用者の命に直結することもあるため、随時改修や補修が必要となる。</p> <p>今後も、予算の確保に努め、計画的に改修をすすめて多くの市民が活用できる場の確保をお願いしたい。</p> <p>○市民の健康増進と体力向上を図るためのスポーツ施設の環境整備は、非常に重要であり本事業の有用性は高いと評価できる。</p> <p>○老朽化の進むスポーツ施設を安全に安心して利用するために、有利な財源確保や、費用対効果の高い施設の長寿命化に努めてほしい。</p> <p>○経年劣化が進み、色々なところで不具合が起きている状況の中で改修等行っていただいた。今後もお願いする。</p> <p>○費用対効果等、意見を聞く取り組みをしてほしい。</p>
----	---

教育委員会の評価

	総合評価	
12	B	<p>市民の心身の健康増進と体力向上を図り、生涯にわたってスポーツを安全に楽しめる施設環境を維持管理していくことは、市民が豊かな人生を送るうえで不可欠なことであり、大変意義のある事業として今後も継続していく必要がある。</p> <p>「個別施設計画」をもとに、費用対効果・優先順位を精査し、また、国・県の補助金、助成金を有効活用して、スポーツ環境の維持改善に努めてほしい</p> <p>今後は、費用対効果も視野に入れた優先順位にもとづき、老朽化や経年劣化の進んだ施設の改修・整備を進めていく必要がある。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和6年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	犬童球溪顕彰音楽祭事業 (いんどうきゅうけいけんしょうおんがくさい)					
2	担当課名	文化課 (文化政策係)		担当者	塩谷 達郎		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		10	市民芸術・文化の振興と継承

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市民、音楽祭出場者及び参加者並びに観客				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	「故郷の廃家」「旅愁」をはじめ、600余編の作詞作曲をされた故犬童球溪先生の偉業を顕彰するため、小学生・中学生・高校生及び一般市民の参加を得て音楽祭を開催し、地域文化の振興・普及に寄与する。				
6	事業の概要	<p>1 個人コンクール：小中高高校生による独奏・独唱のコンクール。8月に予選、10月に本選を実施。</p> <p>2 碑前祭：犬童球溪先生銅像前にて「旅愁」「故郷の廃家」斉唱、献花を行う。</p> <p>3 学校発表会：人吉球磨の学校による合唱、合奏や吹奏楽の音楽発表会。併せて、個人コンクール「球溪賞」受賞者による演奏披露を実施。</p> <p>4 音楽のひろば：人吉市内の音楽団体、主催者が招待する音楽団体及び公募により世代を超え結成する「特設合唱団」による演奏披露。</p>				
7	コスト内訳	年度	令和5年度 (実績)	令和6年度 (実績)	令和7年度 (見込)	
		合計	738千円	3,668千円	4,291千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起債				
		④ その他				
	⑤ 一般財源	738	3,668	4,291		

事業の成果と課題						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>1 個人コンクール 出場数 予選：77人 (0人)、本選：35人 (0人)</p> <p>2 碑前祭 参加数 小中：4校 (2校)、243人 (169人)</p> <p>3 学校発表会 参加数 小中高：27校 (28校)、1,396人 (1,369人)</p> <p>4 音楽のひろば 出演数 7団体 (0団体)、107人 (0人)</p> <p>※ 括弧内は前年度実績</p> <p>※ 1及び4については、5年ぶりの開催。</p> <p>※ 2については、コロナ禍においても規模を縮小して開催継続。</p> <p>※ 3については、4年ぶりに昨年度再開。</p> <p>※ カルチャーパレス大ホールの使用休止に伴い、1及び4については同施設小ホールへ、3についてはスポーツパレスに会場を移し開催。</p>				
9	今後の課題や改善等	<p>カルチャーパレス大ホールが吊り天井耐震問題で使用できなくなり、会場が同施設小ホールやスポーツパレス大アリーナへの変更を余儀なくされている。特に学校発表会の会場であるスポーツパレス大アリーナは音響や舞台設備が不十分で、準備に多大なマンパワーが必要となっている。</p> <p>5年ぶりとなる全行事を終え、「学校発表会」実行委員会、「音楽のひろば」実行委員会や犬童球溪顕彰音楽祭協議会からの新たな意見等を踏まえ改善を図る。</p>				

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		B	<p>人吉市が誇る「犬童球溪」先生を顕彰するために始まったこの歴史ある音楽祭は、昭和22年を初回とし永年にわたり受け継がれ、「個人コンクール（独唱・独奏）」に始まり、「碑前祭」「学校発表会」と続き、「音楽のひろば」でフィナーレを飾る人吉市の秋の風物詩として市民への定着が図られてきた。今後も大切に守り受け継ぐべき優先順位の高い事業と捉えている。</p> <p>「個人コンクール」においては南九州を代表する催しとなるよう目指し、「碑前祭」「学校発表会」では音楽を通じた学びから郷土愛を育み、そして「音楽のひろば」は、子供から大人まで世代を超えて交わり合い互いに成長する機会である当該事業を通じ市民力となる人吉文化の創造と継承を目指す。</p>

学識経験者の意見

11	<p>○5年ぶりに「個人コンクール」や「音楽のひろば」も復活し、正規の犬童球溪顕彰音楽祭に戻った。犬童球溪顕彰音楽祭は、人吉を代表する行事であり、来年度は80回を迎える大切な催しである。今まで続けて運営して下さったことに感謝し、今後も末永く続けてほしい。</p> <p>○犬童球溪顕彰音楽祭事業（5事業）すべてが5年ぶりに開催され、地域文化の振興・普及の促進に寄与した。</p> <p>○来年度の第80回を機に、改めてこの行事の重みを人吉球磨のみでなく、この事業を地域全体で盛り上げるような取り組みとなるように、県下、全国に渡って周知できる取組を行ってほしい。</p> <p>○今後も各実行委員会や犬童球溪顕彰音楽祭協議会と連携し、充実した事業継続に努めてほしい。</p> <p>○人吉市・球磨郡の小中高の児童・生徒たちを集めての音楽祭は大変と思うが、今後も継続してほしい。</p> <p>○今、最大の課題は、カルチャーパレス大ホールが使用できないことである。何とか使える状態にして、「学校発表会」のみならず、「個人コンクール」や「音楽のひろば」にも使用できるようにしてほしい。</p> <p>○大ホールが使用可能となることが、文化芸術を継承するのに必要不可欠と考える。</p> <p>○カルチャーパレス大ホールの活用について、引き続き慎重かつ総合的に検討していく必要がある。</p> <p>○音楽祭の動画を、広く観ていただけるようなことを検討してほしい（YouTubeに制限をかけて配信等）</p>
----	--

教育委員会の評価

12	<p>総合評価</p> <p>B</p> <p>戦後の昭和22年にスタートし、来年80回を迎えるという、これまで続けてこられた先人たちの努力に敬意を表したい。</p> <p>音楽が盛んといわれる人吉球磨地域である。その基礎的な部分を下支えしてきた事業であり、今後もフルスペックの5事業を堅持してほしいと思う。</p> <p>今回、学校発表会も復活し、各学校の音楽活動を再び活発にするきっかけにもなり、個人コンクールについても、参加地域が広がり良かったと思う。</p> <p>このように、この事業は、音楽を通して地域文化の振興・普及に寄与する価値ある取組であり、今後も継続すべき事業である。</p> <p>今後については、「学校発表会」の会場の課題解決や「個人コンクール」の知名度向上のための取組などが必要である。</p>
----	--

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和6年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	人吉城歴史館復旧事業					
2	担当課名	文化課文化財係	担当者	岸田 裕一			
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		11	歴史文化遺産の保存と活用

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市民、史跡来訪者、観光客				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	令和2年7月豪雨により被災した史跡人吉城跡のガイダンス施設「人吉城歴史館」は、休館が続いていたことにより、来訪者の史跡散策の起点や史跡利活用の機会が失われ、史跡を理解する上で支障が生じており、ガイダンス施設の復旧が急務となっていた。				
6	事業の概要	人吉城歴史館の復旧に向けて、建築及び設備工事の実設計業務を行い、令和6年度に災害復旧事業として施設の建築、電気設備、機械設備工事を実施した。また、施設内の展示設備は、展示内容を一から見直し、令和5年度に展示設備工事基本設計業務委託を、令和6年度に実設計業務委託及び展示設備工事を実施した。				
7	コスト内訳	年度	令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(見込)	
		合計	20,063千円	232,106千円	13,740千円	
		① 国庫補助金	7,904	141,305	0	
		② 県補助金	334	11,604	0	
		③ 起債			0	
		④ その他		61,500		
	⑤ 一般財源	11,825	17,697	13,740		

事業の成果と課題						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>本事業では、令和5年度の人吉城歴史館災害復旧建築工事及び設備工事実設計業務委託を実施し、その成果をもとにして、令和6年10月から令和7年3月にかけて災害復旧に伴う建築、機械設備工事を、令和6年10月から令和7年5月にかけて電気設備工事を実施した。</p> <p>また、施設の展示設備については、国指定史跡である人吉城跡の歴史的価値を伝えるガイダンス機能に加え、浸水リスクに対しての備えも含めた展示となるように、展示内容を一から見直して新たな展示設備を構築した。</p>				
9	今後の課題や改善等	開館後は適切な管理運営を図り、総合計画KPI達成（令和9年度年間来館者数16,500人）に向けて、施設の利用及び入館者が増えるための企画を行う必要がある。R7年度目標値を次のとおり掲げる。H30年度実績15,800人⇒R7年目標12,150人（月単位34人増）。				

事業の評価と今後の事業計画

10	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
		B	<p>人吉城歴史館は、史跡人吉城跡のガイダンス施設として、史跡散策の起点となり、さらには、史跡理解を助長するために必要な施設とし平成17年12月の開館以降、市民・観光客に利用されてきた。令和2年7月豪雨で被災し、休館していたが、本事業の実施により災害復旧が完了した。</p> <p>今後は、施設の適切な管理運営をはかるとともに、企画展示等の施設内容を充実させるとともに、市民向けの歴史学習講座等を開催するとともに、書籍の刊行、SNS等による情報発信を通じて、歴史学習の拠点として人吉城歴史館を活用する必要がある。</p>

学識経験者の意見

11	<p>○令和2年豪雨災害から、後世に残してきた貴重な資料が展示ができなかった期間が続いただけに、歴史館の再開は人吉市民のみならず、観光の中心として今後、新たな役割を果たすと考える。</p> <p>○小中学生対象の講座やワークショップなど、多くの企画を設けてほしい。</p> <p>○SNSや回覧等通じて、県内外から観光客を呼び込める企画を期待する。</p> <p>○来訪者や市民の歴史学習の拠点として、また、施設の入館者の増に向け、より魅力的な常設・企画展示等の取り組みをお願いしたい。</p> <p>○展示方法も工夫を凝らしてあり、とても良い。</p> <p>○人吉市・指宿市の子ども会の5・6年生が見学しとても楽しめたと話していた。</p> <p>○学校単位での招待を行い、児童・生徒たちに人吉市の歴史を広めて頂きたい。</p>
----	--

教育委員会の評価

12	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th data-bbox="229 1433 475 1480" style="text-align: center;">総合評価</th> <th data-bbox="475 1433 1441 1480"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="229 1480 475 2049" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td data-bbox="475 1433 1441 2049"> <p>史跡人吉城跡のガイダンス施設である人吉城歴史館の豪雨災害からの施設復旧は、歴史学習の拠点として市民一同待ち望んでいたことであり、大変うれしく思う。</p> <p>特に、展示設備について、国指定史跡である人吉城跡の歴史的価値を伝えるガイダンス機能に加え、浸水リスクに対しての備えも含めた展示設備となるよう、展示内容を一から見直し設備を構築した点を高く評価する。</p> <p>今後、市民や来訪者の更なる歴史学習の拠点となるような企画展示等も充実させ、新しい歴史館をつかっていって欲しい。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	総合評価		A	<p>史跡人吉城跡のガイダンス施設である人吉城歴史館の豪雨災害からの施設復旧は、歴史学習の拠点として市民一同待ち望んでいたことであり、大変うれしく思う。</p> <p>特に、展示設備について、国指定史跡である人吉城跡の歴史的価値を伝えるガイダンス機能に加え、浸水リスクに対しての備えも含めた展示設備となるよう、展示内容を一から見直し設備を構築した点を高く評価する。</p> <p>今後、市民や来訪者の更なる歴史学習の拠点となるような企画展示等も充実させ、新しい歴史館をつかっていって欲しい。</p>
総合評価					
A	<p>史跡人吉城跡のガイダンス施設である人吉城歴史館の豪雨災害からの施設復旧は、歴史学習の拠点として市民一同待ち望んでいたことであり、大変うれしく思う。</p> <p>特に、展示設備について、国指定史跡である人吉城跡の歴史的価値を伝えるガイダンス機能に加え、浸水リスクに対しての備えも含めた展示設備となるよう、展示内容を一から見直し設備を構築した点を高く評価する。</p> <p>今後、市民や来訪者の更なる歴史学習の拠点となるような企画展示等も充実させ、新しい歴史館をつかっていって欲しい。</p>				

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和6年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	人吉市童話発表大会					
2	担当課名	文化課図書館係		担当者	田中 芳博		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		8	社会教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	人吉市内の小学生及び保護者				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	子どもたちに対し、童話に親しむと共に創作活動を活発にする機会を与え、読書意欲の向上や豊かな人間性と表現力の育成を図るため。				
6	事業の概要	<p>第4回人吉市童話発表大会</p> <p>主催：人吉市教育委員会 共催：人吉市内小・中学校長会、人吉市PTA連絡協議会</p> <p>1. 市内各小学校を通じて応募を受け付け、小学生を対象とした低学年、中学年、高学年の部で構成する童話発表大会とする。</p> <p>2. 童話（日本、外国、創作もの）や昔話などを、1～2年生は5分以内、3～6年生は7分以内で発表する。出場者多数の場合は予選会を実施し、本選は18名が出場する。大会はカルチャーパレス小ホールで開催する。</p> <p>3. 本大会では、最優秀賞、人吉市内小・中学校長会長賞、人吉市PTA連絡協議会長賞を各1名に授与する。また、全出場者に図書カードを贈呈するほか、優秀賞として賞状と記念品を、さらに教育長賞1枚に賞状を授与する。</p>				
7	コスト内訳	年度	令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(見込)	
		合計	89千円	111千円	111千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起債				
		④ その他				
⑤ 一般財源	89	111	111			

事業の成果と課題		
8	<p>成果・実績</p> <p>【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 出場者のみならず、その発表の雰囲気を感じられるようにプログラムを前もって学校に配付し、担任や児童が応援に行けるようにした。なお、観客数は68名であった。 ● 出場者全員に図書カードを贈呈し、参加動機を高めた。また、「教育長賞」を新設し、各学校の出場者の割合、応援者及び観客数など発表大会への貢献が高かった1校へ賞状を授与した。 ● 出場申込書の配布時期を見直し、夏休み直前ではなく6月に配布し、参加増に繋げることができた。 ● 今大会の出場者数は、第2回大会（令和4年度）の10名、第3回大会（令和5年度）の8名を上回る14名（※4年生を除く）となり、過去最高を記録した。 ● 最優秀者は英語を織り交ぜた発表で言葉の美しさと異文化背景を表現し、高い評価を得た。他の児童も保護者と練習を重ね、独創的で個性豊かな発表を行い、大舞台の中で感動を与える創意工夫が見られた。
9	今後の課題や改善等	学校との連携はもちろん、情報発信が重要な要素であるため、今後も、デジタル・オフライン双方の多様な媒体を活用し、参加希望者への早期アプローチを促進する必要がある。

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		B	<p>今大会は図書カードや教育長賞新設など、新たな取組みを実施し、出場者数が過去最高を記録したことで、読書活動の推進に伴う読書意欲の向上に寄与できたと考える。更なる出場者を増やす為、視覚的に魅力的なデザインのポスター掲示や市のホームページ、フェイスブックなどのSNSを活用して、初めて挑戦する児童や保護者の参考になる過去の発表童話の題名などを提供する情報発信を強化する必要がある。以上を踏まえ、総合評価として「B」と選択した。</p>

学識経験者の意見

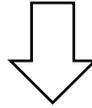
11	<p>○現在人吉市のみの取組となり、参加者が伸び悩んでいる中で、チラシの配付時期を早め、出場者に図書カードの配付や、教育長賞を設けるなど、様々な工夫のおかげで少しずつ参加者増加が見られる。今後も、周知の時期、方法などをさらに検討し、参加者の増加に努めてほしい</p> <p>○参加動機を高める手法（図書カードの贈呈や、教育長賞の新設など）に取り組んだことで、出場者数が過去最高となった。今後も参加動機を促すとともに、出場者増加のため、大会の早期周知に努め、市民の来場を促す情報発信方法等についても検討いただきたい。</p> <p>○募集等について改善してあり、評価する。</p> <p>○去年も意見としてあげたが、発表会の様子を動画で見られるように検討してもらいたい。</p>
----	--

教育委員会の評価

	総合評価	
12	B	<p>公募による本市独自の第4回童話発表大会が、第3回大会の反省をもとに、「教育長賞」の新設や児童へのプログラムの事前配布等の工夫により、過去最高の参加者数等取組の成果が見られたことを高く評価する。</p> <p>しかしながら、出場者数へ意識を向ける取組みは、本来の目的である「本に親しむ」とは路線が異なるように感じたところであった。</p> <p>読書の習慣化が学習成績向上につながることは明らかである。この童話発表大会がその契機となるものであると思うので、引き続き工夫を重ねながら頑張ってもらいたい。</p> <p>今後は、予選会を実施できるような参加児童数の更なる増加を図るため、デジタル・オフライン双方の多様な媒体を活用した新たな取組も必要である。</p>

《 基本理念 》

将来の夢や希望に向かって自らの可能性を高め、人として生きる力を育み、
心身ともに健康で豊かな人生を送ることができる人づくり



《 教育目標 》

I 「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を育む学校教育の推進

子ども一人一人の個性を尊重してその能力を伸ばし、個人として、社会の一員として「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を育む学校教育を推進します。

II 家庭・地域の教育力の向上と協働の推進

家庭や地域の教育力の向上に向けた取組を推進するとともに、学校、家庭、地域社会が協働・連携して地域全体で子どもを育む環境づくりを推進します。

III 生きがいを持って活躍できる生涯学習とスポーツ環境の整備

市民一人一人の豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するために、生涯にわたって自発的に学び続けることを通して、生きがいを持って活躍できる生涯学習・スポーツ環境の整備を推進します。

IV 人吉市民としての誇り、郷土愛を育む歴史・文化環境の整備

豊かな自然とそれを背景に培われた歴史と文化を守り、市民が文化芸術に触れる機会や体験を通じて、人吉市民としての誇り、郷土愛を育む歴史・文化環境整備を推進します。